



不確実な未来を切り拓くための
経営・経済・国際問題・政治・社会に関する問題等の深奥の情報を提供

2025年度 九州生産性大学経営講座

第51回 月例トップを囲む懇談会

～大変革期を生き抜くイノベーション経営実現のために～

期間：2025年4月～12月



公益財団法人 九州生産性本部

各 位

月例「トップを囲む懇談会」ご参会のお願い

九州生産性大学の創設から16期目(1975年)にスタートした「トップを囲む懇談会」は、今年で51年目を迎えることとなります。これまで九州・山口地域の産業界から延べ4,212名の方々にご参加いただいております、これもひとえに皆様方の本会に対する賛意の賜と深く感謝申し上げます。

我が国においては、長引く円安や原材料価格の高騰による物価上昇などが、企業活動や家庭生活に様々な影響を及ぼしております。また、人口減少、少子高齢化などの影響で労働力人口が減少しており、人材確保は企業にとって大きな課題の一つとなっております。

AI、IoT、DXといったテクノロジーの急速な発展は、私たちの社会経済を一変させ、さらには、地政学的なリスク、サプライチェーンの断絶、急激な物価上昇など、企業を取り巻く環境はかつてないほど複雑かつ不確実なものとなっております。

このような時代を企業が生き残り、更なる成長・発展を遂げるためには、グローバルな視点を持つとともに、経営革新・イノベーションによる新たな価値の創造が求められます。

本トップを囲む懇談会では、経営や人・組織の高次元化、進むべき方向への意思決定に役立てていただけるよう、各界で活躍されている一流講師を招聘し、経営・経済・労働・国際問題・未来技術・政治などについて、最新かつメディアでは触れられない深奥の情報を提供いたします。

時節柄ご繁忙のこととは存じますが、貴台をはじめ、貴組織の幹部各位には是非ともご参会賜りますよう、お願い申し上げます。

2025年 2月

公益財団法人九州生産性本部 会長 道 永 幸 典
(西部ガスホールディングス株式会社 代表取締役会長)

九州生産性大学経営講座 理事長 小笠原 浩
(株式会社安川電機 代表取締役会長)

【第51回 月例トップを囲む懇談会 概要】

- | | |
|--------------|---|
| ①開催期間 | 2025年4月23日(水)～12月12日(金) |
| ②開講課程 | オンライン配信(4月23日～5月31日) |
| ③月例会
【会場】 | 5月～11月 13:30～16:30(各1日 ※8月休み)
5月、7～11月：西鉄グランドホテル(福岡市中央区大名2丁目6-60)
6月：ソラリア西鉄ホテル福岡(福岡市中央区天神2丁目2-43) |
| ④修了課程 | 12月(全コース合同) 会場：福岡国際会議場(福岡市博多区石城町2-1) |
| ⑤対象者 | 経営トップ
役員(取締役、監査役)クラスの方
労働組合の幹部の方
経営課題に関連する各種テーマにご関心のある方
※1口2名登録制。毎月の例会ごとに交代または代理の方の出席可能 |

開講
課程

配信期間

4月23日(水)
)
5月31日(土)

4月23日(水)13:30
オンライン配信
4月24日(木)～
アーカイブ配信

【開講課程のみ、収録分をオンライン配信】

開講式(挨拶)・オリエンテーション

講演①「世界・日本経済の展望
～トランプ登板と石破少数与党でどう変わる～」
(60分を予定)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
首席エコノミスト

熊野英生氏



講演②「結果が変わる仕事術
～最強のインプット&アウトプット術～」
(60分を予定)

精神科医・作家
(累計発行部数260万部ベストセラー作家)

榊沢紫苑氏



13:30～13:40 オリエンテーション

13:40～14:40

講演①「激動の時代をどう生き抜くか
～時流を捉え、人間力を高め、つながる力～」

元 HSBC証券会社代表取締役社長
京都橘大学 客員教授

立澤賢一氏



15:00～16:00

講演②「AI時代を生き抜く人としてのコミュニケーションパワー
～松岡修造氏などから学んだ一流の人心掌握～」

KBC九州朝日放送アナウンサー

長岡大雅氏



16:10～17:00

修了式(修了証書授与)および優秀レポートの表彰

17:20～18:40

第67期九州生産性大学経営講座

修了記念パーティ(会場:福岡国際会議場)

※ 12月修了課程は、九州生産性大学の全コース合同となります。

12月
修了
課程

全コース合同

12月12日(金)

福岡国際会議場

【月例会プログラム】 ※各例会2名までの出席が可能です。(代理出席を含む)

5月
例会

5月20日(火)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

AI・未来予測

講演 「未来予測 2035
~人工知能(AI)は、社会やビジネスに今後どのような影響をもたらすか?~」

(株)アクアビット 代表取締役
チーフ・ビジネスプロデューサー 田中 栄 氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

経営・組織変革

講演 「笑いの力で組織を変える
~離職を防ぎ、働きたいと思える組織を作る~」

(株)俺 代表取締役社長
元 お笑い芸人 中北 朋宏 氏



6月
例会

6月20日(金)

ソラリア西鉄ホテル福岡

13:30~14:50

環境・カーボンニュートラル

講演 「サーキュラーエコノミーがビジネスを変える
~循環経済&カーボンニュートラル最前線~」

日本生産性本部 コンサルティング部
エコ・マネジメント・センター長 喜多川 和 典 氏
上智大学大学院 地球環境学研究科 非常勤講師



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

政治

講演 「日本政治の展望
~参議院選挙のゆくえを交えて~」

政治ジャーナリスト 青山 和 弘 氏



7月
例会

7月18日(金)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

組織・リーダーシップ

講演 「しなやかで強い組織のつくりかた」

NPO法人NELIS 代表理事
(株)トランスエージェント 会長 ピーター・D・ピーダーセン 氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

地方創生・リーダーシップ

講演 「地域から起こす変革の可能性
~「よそもの」がシン・チホウを生む~」

(株)ONE・GLOCAL 代表取締役
元 (株)JR東日本ステーションリテイリング 代表取締役社長 鎌 田 由美子 氏



(※8月はお休み)

9月
例会

9月11日(木)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

危機管理

講演 「危機管理とリーダー」

元警視総監・元内閣危機管理監 米村敏朗氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

経営・組織変革

講演 「社員エンゲージメントが会社を変える
~なぜ幸せな社員は生産性が31%高いのか?~」

(株)カルチャリア 代表取締役社長
国際人事コンサルタント 奥山由実子氏



(メンバー懇親会~夕食会を兼ねて~)16:50~18:30

10月
例会

10月10日(金)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

経営・イノベーション

講演 「100年企業に学ぶリスクマネジメント
~老舗企業のイノベーター、事業承継と事業革新~」

明治学院大学 名誉教授
(一財)リスクマネジメント協会 理事長 神田良氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

国際政治

講演 「中国の経済・政治情勢と台湾有事の行方」

評論家 石平氏



11月
例会

11月18日(火)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

人生観・仕事観

講演 「ブレない心の育て方
~仏教に学ぶ経営の本質~」

佛心宗大叢山福厳寺 第31世住職
YouTubeチャンネル「大愚和尚の問一答」
(登録者70万人) 大愚元勝氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

経済

講演 「日本経済のゆくえ
~世界の金融経済から紐解く~」

経済アナリスト
(一社)日本金融経済研究所 代表理事 馬淵磨理子氏



田中 栄 (たなか さかえ) 氏

(株)アクアビット 代表取締役 チーフ・ビジネスプロデューサー
「未来予測レポート」シリーズ著者

北海道札幌市出身、1966年生まれ。1990年、早稲田大学政治経済学部卒業。同年(株)CSK入社、社長室所属。CSKグループ会長・故・大川功氏の下で事業計画の策定、業績評価など、実践的な経営管理を学ぶ。

1993年マイクロソフト(株)入社。WordおよびOfficeのマーケティング戦略を担当。1998年ビジネスプランナーとして日本法人の事業計画立案を統括。さらにXboxの創業メンバーとして、ビジネスの全体設計を担う。

2002年12月に同社を退社後、2003年2月(株)アクアビットを設立し、代表取締役に就任。幅広い分野の企業で中長期戦略や新規事業の立案を支援。戦略やビジョンを議論するための前提として、2004年から法人向けレポート「未来予測レポート」シリーズを刊行。シリーズ累計で1600社以上に導入実績。

最新刊は「未来予測2035レポート&デジタルサービス」。2015年5月～2019年4月、あずさ監査法人KPMGジャパン 総合研究所 顧問。

中北 朋宏 (なかきた ともひろ) 氏

(株)俺 代表取締役社長
元 お笑い芸人

浅井企画で芸人として活動の後、人事系コンサル会社に就職。営業MVP等数々の賞を受賞。2018年2月に(株)俺を設立。お笑い芸人からの転職支援「芸人ネクスト」、笑いの力で組織を変える「コメディーション」の事業を展開。

これまでに「芸人ネクスト」で100名以上の芸人の転職にも携わり、「コメディーション」は約260社以上の企業に導入され、受講者は26,000名を超えている。

3冊の出版を行っており、ベストセラーを記録している。

1作目『ウケるは最強のビジネススキルである。』(日本経済新聞社)

2作目『コンプレックスは営業の最高の武器である。』(日本経済新聞社)

3作目『おもしろい人が無意識にしている神雑談力』(東洋経済新報社)

喜多川 和典 (きたがわ かずのり) 氏

(公財)日本生産性本部 コンサルティング部 エコ・マネジメントセンター長
上智大学大学院 地球環境学研究所 非常勤講師

長年にわたり、行政・企業の環境に関わるリサーチ及びコンサルティングにあたる。

上智大学大学院非常勤講師、経済産業省循環経済ビジョン研究会委員(平成30年度～令和元年度)、NEDO技術委員、ISO TC323 Circular Economy 国内委員会委員。

主な著書に、『サーキュラーエコノミー 循環経済がビジネスを変える』勁草書房、『環境・福祉政策が生み出す新しい経済 “惑星の限界”への処方箋』岩波書店、『プラスチックの環境対応技術』情報機構、『材料の再資源化技術事典』日本工業出版、『プラスチックのケミカルリサイクル技術』シーエムシー出版(いずれも共著)等がある。

青山 和弘 (あおやま かずひろ) 氏

政治ジャーナリスト
東洋大学 非常勤講師 青山学院大学 客員研究員
元日本テレビ 政治部次長兼解説委員

1968年千葉県生まれ1992年東京大学文学部社会心理学科卒業、日本テレビ入社。政治部では野党キャップ、自民党キャップを歴任した後、国会官邸キャップは2回(通算6年)。羽田政権から石破政権まで16の政権を取材。阪神大震災から民主党結党、郵政解散、政権交代、東日本大震災、森友・加計問題、安倍トランプ会談など現場取材レポート。

直接担当した政治家は枝野幸男、前原誠司、鳩山由紀夫、野田佳彦、山崎拓、武部勤、野中広務、亀井静香、安倍晋三、小淵優子、小野寺五典、林芳正、武田良太、小川淳也など多数。

与野党を問わない幅広い人脈と分かりやすい解説には定評がある。

1995年-96年 米国コロンビア大学東アジア研究所 客員研究員

2011年から2年5か月 外報部ワシントン支局長 オバマ大統領、米大統領選挙を取材「ズームインSUPER」「ザ情報ツウ」ニュースコーナーキャスター、解説委員として「news every.」毎週火曜日出演経験等があり、現在も各種メディアで幅広く活躍中。

ピーター・D・ピーダーセン (Peter David Pedersen) 氏

大学院大学至善館 教授 / NPO法人NELIS 代表理事
明治ホールディングス(株)、(株)丸井グループ、三菱電機(株) 社外取締役、
(株)トランスエージェント会長・Management Innovation School代表

1967年デンマーク生まれ、日本在住33年。

1995年から、日本で環境経営・CSR・サステナビリティ経営・ESG・SDGsに携わり、各業界におけるリーディング・カンパニーのサステナビリティ戦略、人材育成、経営者育成などを支援。日本におけるサステナビリティ経営の黎明期の第一線で活動し、現在も、上記の他、NEC、アスクル、第一生命などでサステナビリティ・アドバイザーを務める。

2014年より、「組織的レジリエンス」も研究テーマとし、「マネジメント・イノベーション」を起こすための独自フレームワークとして、「トリプルA」経営を提唱。4回にわたる大規模な企業調査と、研修、セミナー、企業への助言を通じて、しなやかに強い組織の作り方や、企業における次世代リーダー育成に取り組む。著書に、『しなやかに強い組織のつくりかた』(生産性出版)、『SDGsビジネス戦略ワークブック』(日刊工業新聞)、『ソーシャル・イントラプレナー～会社しながら未来を変える生き方』(生産性出版、監修)、『レジリエント・カンパニー』(東洋経済新報社)、『第5の競争軸』(朝日新聞出版)など多数。

鎌田 由美子 (かまた ゆみこ) 氏

(株)ONE・GLOCAL CEO・地域デザイナー
元・(株)JR東日本ステーションリテイリング 代表取締役社長

茨城県出身。1989年JR東日本入社。2001年エキナカビジネスを手がけ、2005年「ecute」を運営するJR東日本ステーションリテイリング代表取締役社長。その後、本社で地域再発見PTを立ち上げ、青森「A-FACTORY」や地産品ショップ「のもの」、越後湯沢駅改良等、地産品の販路拡大や農産品の加工に取り組む。2015年カルビー上級執行役員。

現在は(株)ONE・GLOCALで、地域デザインの視点から地方自治体や地元企業と、地域資源を活用した産業育成やまちづくりに取り組む。自社でも希少品種や未利用資源素材を活用したオリジナル商品開発に取り組み、小ロットでの付加価値の高い加工販売をtoB、toCで行っている。

国やNHK等の各種審議委員を務め、社外取締役、複数の自治体アンテナショップの商品選定委員や茨城県や笠間市をはじめとした自治体の大使など地域に深く関わる。

米村 敏朗 (よねむら としろう) 氏

元警視総監・元内閣危機管理監

1951年生まれ、兵庫県出身。1974年3月 京都大学法学部卒業、74年4月 警察庁入庁、82年7月 警視庁神田警察署長、84年3月 警視庁第2機動隊長、86年3月 在ベオグラード日本大使館一等書記官、89年8月 警視庁警備第一課長。92年8月 警視庁人事第一課長、94年4月 秋田県警察本部長、95年8月 警察庁警備局外事課、98年7月 小渕恵三内閣総理大臣秘書官、2000年4月 警察庁警備局警備企画課長、00年8月 警察庁長官官房人事課長、01年9月 警視庁公安部長。03年8月 警察庁長官官房審議官(警備局担当)、04年6月 大阪府警察本部長、05年8月 警視庁副総監、06年7月 警察庁警備局長、07年8月 警察庁長官官房長、08年8月 警視総監、10年1月 退官。11年12月 内閣危機管理監、14年2月 退任、内閣官房参与、14年3月 退任。その後東京2020オリンピック競技大会組織委員会理事次いで同委員会CSO(チーフ・セキュリティ・オフィサー)、17年7月 理事退任、21年9月 CSO退任。

奥山 由実子 (おくやま ゆみこ) 氏

(株)カルチャリア 代表取締役
国際人事コンサルタント

東京・浅草出身。1993年、ニューヨークへ渡り、人事コンサルティング会社(本社・ニューヨーク)を設立。現地在住の日本企業を中心に、2,500社以上にわたる社員研修や人材育成プロジェクトを通じて、組織の成長と従業員のエンゲージメント向上に貢献する。

2006年、これまでの国際ビジネス経験を活かし、東京に新たな人事コンサルティング会社を設立。その後、同事業を売却し、さらに進化した取り組みに挑む。

2017年、急速なグローバル化が進む日本社会において、戦略人事の重要性と「社員幸福度」が企業の成功に不可欠であるとの信念を抱き、(株)カルチャリアを創業。「社員が真に幸福を感じる職場環境こそが、持続可能な企業成長の鍵である」という理念のもと、働き方改革、職場の文化改善、人材開発を中心としたコンサルティングを提供。社員一人ひとりの幸福と企業のパフォーマンスを同時に向上させるという視点から、企業が直面する課題を解決し、持続可能な成長を目指す「戦略人事」のリーダーとして活動を続けている。

神田 良 (かんだ まこと) 氏

明治学院大学 名誉教授
(一財)リスクマネジメント協会 理事長

1953年長野県生まれ。一橋大学商学部卒業、同大学大学院商学研究科修了。明治学院大学経済学部専任講師、助教授、教授を経て、2022年3月定年退職。

経営戦略論、経営組織論、労務管理論などを学部、大学院にて担当。経営戦略を中心にグローバル化、ISOマネジメントなど幅広い研究領域に関心を持つ。東京商工会議所中央支部老舗企業塾の創設に参加し、日本生産性本部や日本科学技術連盟での調査研究や、企業内経営スクールでの講師を務めるなど、実務と結びつく研究に重きを置いている。

現在、米国RIMS(Risk and Insurance Management Society)日本支部理事長。

石 平 (せき へい) 氏

評論家

1962年、中国四川省に生まれる。北京大学哲学部を卒業。1988年来日。1995年に神戸大学文化科学研究科博士課程修了後、民間研究所勤務。

2002年に『なぜ中国人は日本人を憎むのか』(PHP研究所)を著して中国における反日感情の高まりについて先見的な警告を発して以来、フリーの立場で評論活動に入る。

著書に『論語道場』(致知出版)、『謀略家たちの中国』(PHP研究所)、『中国人の正体』(宝島社)、『なぜ日本は中国から離れるとうまくいくのか』(PHP新書、第23回山本七平賞受賞)

大愚 元勝 (たいぐ げんしょう) 氏

佛心宗大叢山福厳寺 第31世住職
YouTubeチャンネル「大愚和尚の問一答」開設

僧名「大愚」は、何にもとられない自由な境地を表す。駒澤大学、曹洞宗大本山總持寺を経て、愛知学院大学大学院にて文学修士を取得。僧侶・事業家・セラピスト・空手家と4つの顔を持ち、「僧にあらず俗にあらず」を体現する異色の僧侶。

また、過食、拒食、リストカットを繰り返す少女の母親からの相談をきっかけに始めた、YouTubeのお悩み相談チャンネル「大愚和尚の問一答」は、登録者70万人を超える。令和元年には、仏教の本質に立ち返り、「慈悲心、知恵、仏性を育む」ことを宗旨とする佛心宗を興し、新たなスタートを切る。

著書は、『苦しみの手放し方』(ダイヤモンド社)、『ひとりの「さみしさ」とうまくやる本』(興陽館)、『これでは、不幸まっしぐら』(佼成出版社)、『苦しい心が軽くなる思いを手放すことば』(KADOKAWA)『自分という壁 自分の心に振り回されない29の方法』(アスコム)『1日3分でしなやかな心が育つ 禅のことば』(講談社)など多数。

馬淵 磨理子 (まぶち まりこ) 氏

(一社)日本金融経済研究所 代表理事 / 経済アナリスト
大阪公立大学 客員准教授

京都大学公共政策大学院 修士課程を修了。トレーダーとして法人のファンド運用を担う。

その後、金融メディアのシニアアナリストを経て、現在は、一般社団法人日本金融経済研究所 代表理事として企業価値向上の研究を大学と共同研究している。

イー・ギャランティ社外取締役。楽待 社外取締役。国会衆議院、財務金融委員会で参考人として意見陳述し、事業性融資の法案可決にも寄与する。

ラジオ番組「馬淵・渡辺のビジトビ」や多数のテレビ出演他、著書として、『株式原論』『金融・経済ノート』『仕事術』『勉強法』など幅広く活躍中。

日本金融経済研究所 <https://jrife.or.jp/>

九州生産性大学経営講座～九州一の歴史と規模を誇るマネジメントスクール～

概要

九州産業界の提唱により、昭和34年に創設された総合的人材育成機関であり、地元企業・労組はもとより、様々な組織・団体からご参加いただき、これまでに2,180組織、29,844名の方々が本講座を修了されております。

本年度は、

- ①トップを囲む懇談会をはじめとして、②経営戦略コース ③マネジメント能力開発コース ④主任・係長育成コース
- ⑤人事戦略コース ⑥経営財務コース ⑦コストダウン実践コース ⑧マーケティング戦略コース
- ⑨ビジネス法務コース ⑩キャリアデザインコース ⑪U-29 未来キャリアコース
- ⑫データドリブン基本コース(オンライン特設コース)

以上12コース編成で実施いたします。

理事・運営委員名簿

2025年2月5日現在 (50音順・敬称略)

理事長

小笠原 浩 (株)安川電機 代表取締役会長

理事

池 辺 和 弘 九州電力(株) 代表取締役社長執行役員	高 橋 靖 英 (株)大分銀行 取締役頭取
上 野 総一郎 南国殖産(株) 代表取締役社長	長 木 哲 朗 トヨタ自動車九州(株) 代表取締役社長
江 川 和 宏 黒崎播磨(株) 代表取締役社長	中 田 昌 宏 日本製鉄(株) 常務執行役員九州製鉄所長
甲 斐 隆 博 (株)肥後銀行 顧問	長 尾 亜 夫 西日本鉄道(株) 相談役
杉 田 浩 二 (株)宮崎銀行 取締役頭取	森 拓二郎 (株)十八親和銀行 取締役会長

運営委員

運営委員長 津 野 喜久代 九州電力(株) 執行役員人材活性化本部長
副運営委員長 下 田 雅 彦 三和酒類(株) 取締役会長

青 柳 直 九州労働金庫 専務理事	重 岡 敏 一 (株)新出光 代表取締役専務執行役員
阿 部 真 一 (株)上電機製作所 製造本部生産・改善統括部生産技術グループマネージャー	島 内 高 英 松尾建設(株) 管理本部能力開発・人事部統括
安 藤 克 己 西日本プラント工業(株) 人財管理部長	首 藤 和 彦 三和酒類(株) 執行役員サポート本部長
石 谷 賢 信 西日本鉄道(株) 人事部人財開発課課長	白 浜 和 也 (株)佐賀銀行 人事部部長
井 手 義 雄 (社医)雪の聖母会 聖マリア病院 理事長	宗 田 賢 治 三菱重工(株) 長崎造船所所長代理
井 上 英 夫 佐賀西信用組合 理事長	田 中 勉 (株)正興電機製作所 取締役常務執行役員
猪 股 高 士 (株)大分銀行 人財開発部長	田 中 義 昭 (株)RKKCS 経営管理本部人事部長
井 原 宏 熊本トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	田 柘 植 隼 日産自動車九州(株) 工務部生産計画課IE・TQMグループ主任
今 別 府 誠 小倉合成工業(株) 代表取締役社長	松 孝 二 (株)九電工 理事 九電工アカデミー学長
岩 本 功 鶴崎海陸運輸(株) 人事部部長	田 利 浩 東亜工機(株) 取締役総務部長
上 村 慎 吾 (株)肥後銀行 人事部部長	戸 田 優 日本製鉄(株)九州製鉄所 生産技術部IEソリューション室室長
魚 住 亨 広 TOTO(株) 生産技術推進部製造革新推進グループ	永 松 宏 一 (株)オーレック 製造部部長
江 夏 拓 三 霧島ホールディングス(株) 代表取締役専務	濱 治 和 博 KMバイオロジクス(株) 人事部部長
大 嶋 宗 春 西部ガスホールディングス(株) 理事グループガバナンス部長	早 坂 健 三菱ケミカル(株) 人事部Japan人事部BP(九州)リーダー
大 西 規 之 九州電力(株) 人材活性化本部社員研修所教育計画グループ長	林 い ず み 熊本製粉(株) 執行役員企画マーケティング部長
岡 園 勇 治 (株)SYSKEN 取締役経営管理本部長	原 慎 義 之 九州旅客鉄道(株) 総務部法務室室長
小 川 浩 二 (株)岩田屋三越 取締役執行役員総務・経営企画部長	平 井 恭 夫 TOTO(株) 執行役員財務・経理本部長
小 沖 本 浩 司 西日本鉄道(株) 総務部法務担当部長	福 田 峻 西部ガス労働組合 中央執行委員長
金 子 亮 輔 イオン九州(株) 執行役員管理本部副本部長兼経営企画部長	藤 本 孝 (株)DENKEN 代表取締役社長
上 村 哲 司 宮交ホールディングス(株) 常務取締役	堀 内 悠 太郎 (株)西日本シティ銀行 人事部人財開発室主任調査役
川 崎 貴 之 全山形屋労働組合 中央執行委員長	本 田 彰 秀 西部ガスホールディングス(株) 理事人財戦略部長
河 野 佳 奈 トキハ労働組合 執行委員長	増 永 百 合 江 Gcomホールディングス(株) 経営管理部部长補佐
川 村 耕 一 (株)博多大丸 業務推進部長	丸 山 勝 成 日之出水道機器(株) 執行役員リソースマネジメント統括グループリーダー
京 田 清 人 南国殖産(株) 取締役常務執行役員管理本部長	村 上 芳 伸 (株)安川電機 生産技術部生産基盤設計課課長
古 賀 靖 朗 九州電力(株) 人材活性化本部人事部長	本 村 聖 一 (株)イ・アエラ 執行役員事業推進部部長
小 谷 茂 夫 (株)電盛社 通信キャリアエンジニアリング部部長	森 山 一 繁 大電(株) 取締役電線事業部長
小 津 和 健 吾 (株)福岡銀行 執行役員人事部長	柳 瀬 健 吾 九州電力労働組合 本部書記長
小 山 田 吉 宏 (株)鹿児島銀行 理事人事部長	山 口 大 輔 (株)グリーンクロス 管理部部长
坂 田 朋 子 (株)電通九州 ビジネス統括局経営企画部部長	山 中 直 孝 九州旅客鉄道(株) 常務執行役員総務部長・人事部長
崎 本 安 徳 日本郵政グループ労働組合 九州地方本部 執行委員長	山 根 久 資 雄 日本製鉄八幡労働組合 書記長
櫻 井 智 規 (株)博多大丸 取締役営業統括部長	山 本 太 喜 市 (株)宮崎銀行 人事部部長
貞 森 佐 土 志 九州電力(株) 地域共生本部法務部長	湯 川 康 市 (株)黒崎播磨(株) 取締役常務執行役員
佐 世 賢 文 (株)戸高鉱業社 執行役員総務部長	田 猛 功 (株)井筒屋 取締役常務執行役員
塩 澤 美 子 福岡国際空港(株) 経理・財務部長	渡 邊 剛 之 (株)大銀経済経営研究所 代表取締役
塩 屋 幸 一 郎 九州電力(株) 人材活性化本部社員研修所教育運営グループ長	
四 海 秀 之 (株)新菱 経理部長	

ご参会申込要領

1. 申込方法について

- (1) WEBからのお申込みをお願いいたします(1口2名まで登録可能)。お申込み後、当本部にて入力内容を確認した後に、「申込み確定メール」をお送りいたします。
- (2) 申込確定メールでは、①請求書、②開講課程の案内のURLをお送りします。お手数ですがWEBからダウンロードいただきますようお願いいたします。
- (3) セキュリティ上、WEBからのお申込みができない場合は、「九州生産性大学申込書(PDF版)」を当本部HPより出力し、必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。

申込締切日：2025年4月17日(木)

2. 参会費について(1口につき・消費税込 *1口2名登録制)

九州生産性本部賛助会員企業の方	352,000円
九州生産性本部ならびに九州労組生産性会議(九労生)の会員労組の方	176,000円
未会員企業・労組の方	440,000円

3. 参会費納入について

- (1) 請求書を出力(ダウンロード)いただき、記載の銀行口座にお振込をお願いいたします。
- (2) お支払い期限は4月開講課程オンライン配信開始日(4月23日)までとさせていただきます。
- (3) 分割払いをご希望の場合は半額以上を開講日までに、残金については支払予定日と金額を通信欄に明記願います。残額の最終納入期限は2025年8月31日とさせていただきます。
- (4) 申込み後のキャンセルは、直接当本部までお電話ください。但し、4月18日以降はキャンセル料を頂戴いたします。
 - ・4月18日～22日 参加費の 50%
 - ・4月23日以降 参加費の100%

4. その他

- (1) 1口2名登録制となりますので、1例会に2名ご参加いただけます。毎月の例会ごとに、登録メンバー以外の方が交代でご出席いただいても結構です。
- (2) 講演は録音不可(オフレコ)となっておりますので、ご欠席の場合は代理出席をご配慮いただけますと幸いです。

お申込みの流れ

<参加者がお決まりの場合>

正式申込み

<参加者がお決まりでない場合>

予約申込み

WEBより申込み【**先着順**】

九州生産性大学

検索



※必要事項をご記入の上、お申込み・ご予約をお願いします。

「申込受付メール」が自動配信で届きます

※この時点ではまだ申込確定ではございません。

「予約受付メール」が自動配信で届きます

※この時点ではまだ予約確定ではございません。

※30分以内に自動配信メールが届かない場合は、裏表紙記載のお問い合わせ先までお電話ください。

「申込確定メール」が届きます

「申込確定メール」をもって受付完了といたします

※当方で入力内容、空き状況等を確認後、受付を確定いたします。

※①請求書 ②開講課程のご案内 のURLを記載した申込確定メールをお送りいたします。

「予約確定メール」が届きます

「予約確定メール」をもって受付完了といたします

※予約は**3週間(21日)有効**となっております。**有効期限を過ぎると無効となりますのでご注意ください。**
なお、3月27日(木)以降の予約については、有効期間が申込締切日の4月17日(木)までとなります。

「請求書」をダウンロードし
振込手続きをお願いします

「開講課程のご案内」をダウンロードし、
ご確認ください

正式申込み

参加者が決まり次第、予約確定メールに記載のURLより正式申込みをお願いします

生産性運動の三原則

雇用の維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用を拡大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的な観点に立って能う限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

労使の協力と協議

生産性向上のための具体的な方法については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

成果の公正配分

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に分配されるものとする。

生産性の精神

生産性とは、何よりも精神の状態であり、現存するものの進歩、あるいは不断の改善をめざす精神状態である。

それは、今日は昨日よりもより良くなし得るという確信であり、さらに、明日は今日に優るという確信である。

それは、現状がいかに優れたものと思われ、事実また優れていようとも、かかる現状に対する改善の意志である。

それは、条件の変化に経済社会生活を不断に適応させていくことであり、新しい技術と新しい方法を応用せんとする不断の努力であり、人間の進歩に対する信念である。

(ヨーロッパ生産性本部ローマ会議報告書より 1959年3月)

公益財団法人 九州生産性本部
「九州生産性大学経営講座」



〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階
TEL 092-771-6481/FAX 092-771-6490
URL <https://qpc.or.jp/> E-mail support@qpc.or.jp